

越教組ニュース

越谷市教職員組合
情宣部
16.05.14(土)
Tel 988-3281
Fax 988-3283

越谷版「せんせのがっこ。」に笑顔集う

子どもの声をキャッチして、願いを実現 「いきいき学級、わくわく授業」

四月二〇日(水)中央市民会館で「せんせのがっこ。」を行いました。授業参観がある、運動会の準備がある…学校はいつでも忙しいものです。そんな中でも「学習をしたい」という参加者で、会議室がいっぱいになりました。

講師の関口武先生は、さいたま市の小学校教員です。「いきいき学級わくわく授業」のテーマで、先生の思いや学級作りのポイント、今までに出会った子どもたちと作ってきたたくさんの実践を教えてくださいました。

学級開きは、大きな声で踊りの振り付けをいれた自己紹介から始めます。(実演してもらいました)

何日か後に、子どもたちにアンケートを取ります。子どもの必要と要求をつかむためです。アンケートには、一つ一つ、回答をします。

○ドッチボールをたくさん校庭でさせてください。↓外で遊ぼう。

○体育をいっぱいやりたいたい。↓時間が決まっていますよ。

○先生、もっと勉強教えてください。↓いっぱいね。

○金属バットを買ってください。↓キヤーごめんゆるして。

○もっとちがう遊びを考えて↓いっぱいあるよ。

整理整頓が苦手な裸足で歩き回る子どもがいて、「裸足で過ごす」ことや「自由席給食」を提案します。先生が押し付けるのではなく、子どもの声を大切に、子どもたちが話し合っ

て決めていくのです。初めは学級活動の提案者は先生でしたが、だんだん子どもが動き始めるといいます。ある子は発達上の難しさがあ

り、どうしても暴言暴力が出ていました。すると子どもたちは「平和クラブ」を作りました。友だちの仲間として迎え入れたいという思いが伝わり、その子は落ち着いてきたとい

います。自分の考えを持っている、自分の考えを安心して言える、お互いの考えを聞き討

感想

○つい、教師の一方的授業になりがちなのですが、話し合いの大切さと、子どもの思いを尊重して自治的に進めていく必要性、重要性を改めて感じました。いっぺんに全てを取り入れていくことはできませんが、一つでも二つでも生かしていきたいです。

○初めての参加。たいへん勉強になりました。発達に課題のある児童への対応は、特に参考になりました。できないときに「次のときにできるといいね」といったスタンスで働きかける、というお話はしっくりきました。

○「できない子を教えるのが教師」「一番大事なのは子ども」「自分の子どもだと思おう」「子どもが安心できるようにする」など、すばらしい言葉をたくさん聞けました。関口先生の温かい雰囲気がとてもよかったです。

文科大臣も諫めるしかない

過去問特訓は学力調査の本質を逸脱

四月二八日の朝日新聞によると、文科省が「全国学力調査」(通称「学力テスト」)について、調査前に過去の問題を授業で集中的に解かせるなど、調査の点数を上げることを主目的とした取り組みをしないように求める通知を都道府県教委宛に出したということ

です。文科省は、過去問について子どもの理解を深める目的で使用することは認めているものの、実態は点数を上げる目的に主眼を置いた使われ方をしていることに警鐘を鳴らした形となりました。

この問題に関しては、馳文科大臣が二十日の記者会見で、過去問を使って学力調査対策をするように教委から指示された、との情報が教員から寄せられたことを明らかにし、こんなことが「各地であるなら大問題で、(学力調査の)本質を揺るがす。」との見解を示していました。

新聞では、二〇一三年の福岡県教委の事例をあげていましたが、埼玉や越谷においても学力調査

の本質を逸脱して点数主義に陥っていませんか、立ち止まって考える必要があるのではないかと思います。

越教組は以前より学力調査は点数主義的に陥り易いことを指摘、No1265

においては「学力調査は本来の目的を忘れるな」「学力調査は競技会ではない」と訴えてきました。

メーデー 要求を高く掲げ

五月一日、第五六回越谷地区メーデーが、五五人の参加者で華やかに開催されました。開催に当たり、上田県知事、高橋越谷市長からのメッセージも披露され盛り上がり華を添えました。

集会では「安保法制廃止!立憲主義を取り戻す決議」「大幅賃上げ、正規雇用を実現し、労働法

制の改善に反対する決議」「原発の再稼働を許さず、自然エネルギーへ

スローガン

・労働法制の改善を阻止し、長時間労働規制法を制定させよう。

・非正規労働者の雇用安定をはかり、誰でもが時給千円以上を実現させよう。

・安保法制を廃止し、立憲主義を取り戻そう。

の転換を求める決議」のほか、九力条からなるスローガンを採択し、サンシャイークミュニティセンターから新越谷駅までパレードを行いました。

・原発の再稼働を許さず、自然エネルギーに転換させよう。

・普天間基地の辺野古移設に反対し、基地のない平和な島沖縄をめざそう。

・公契約条例を制定し豊かな地域社会をつくらう。

・医療・介護・福祉・子育ての施策の充実で、暮らしやすいまちをつくらう

・男女共生社会を実現し、高齢者や障がい者、定住外国人などの人権を守ろう。

・労働者は労働組合に結集し、団結して闘おう。